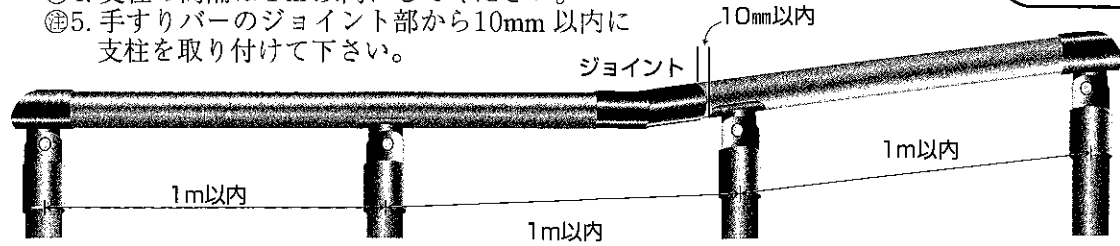
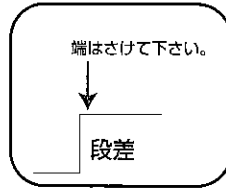


屋外用エラスト手すりの取り付け方

〔ベースプレート法〕

(1) 取り付け場所に予め手すりバーを配置し、支柱位置を決めて下さい。

- ①. 取り付け下地のコンクリート等、硬質部が5cm以上有るか確かめて下さい。5cm以下の場合は埋め込み法で設置して下さい。
- ②. 大きな石の有る場所はお避け下さい。
- ③. 階段等段差の先端はお避け下さい。
- ④. 支柱の間隔は1m以内にしてください。
- ⑤. 手すりバーのジョイント部から10mm以内に支柱を取り付けて下さい。



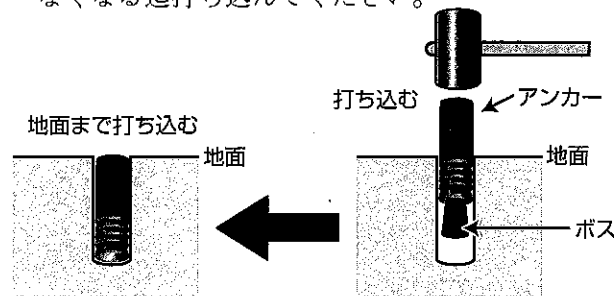
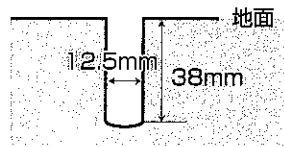
(2) 支柱の位置が決まりましたら、ベースプレートを手すりバーに対し直角になるように置き、ベースプレートのボルト穴位置に印を付けて下さい。



(3) 印を付けたボルト位置にコンクリートドリルで直径12.5mm深さ38mmの穴〔アンカー穴〕を開けて下さい。

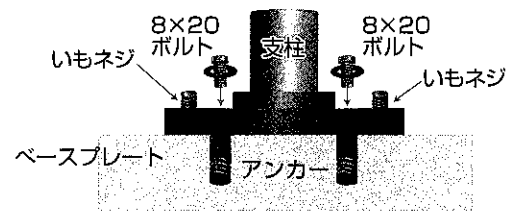
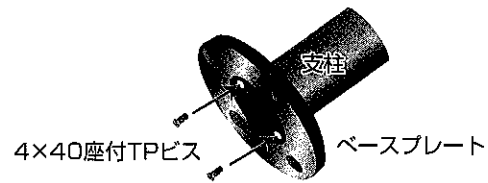
(4) アンカー穴にアンカーのボス部を地面から出なくなる迄打ち込んで下さい。

⑥. 穴は正確に開けて下さい。取り付けアンカーボルトの強度が出ない時があります。

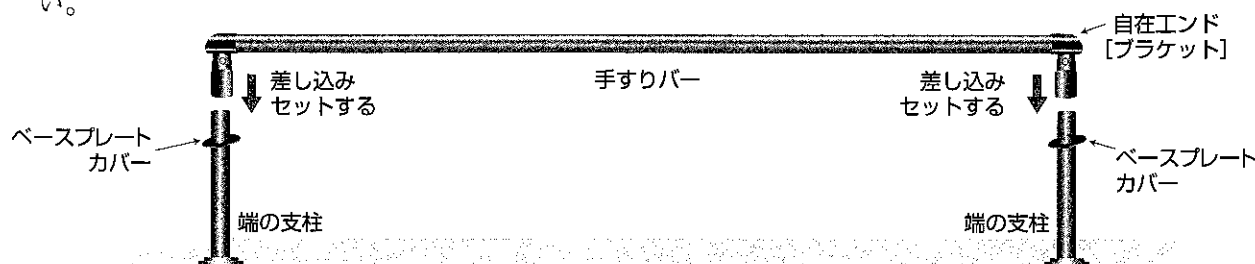


(5) ベースプレートにエンド用の支柱を差し込み、ベースプレートの下部から座付タップビス4×40をねじ込み取り付けして下さい。

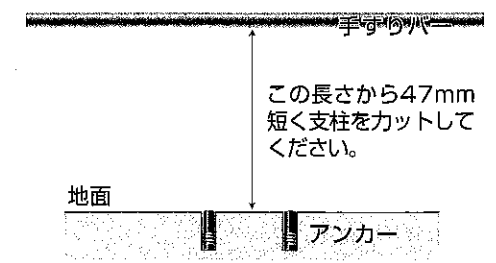
(6) セットした支柱を配置した手すり位置の両端にあてがい、アンカー用ボルト8×20で打ち込んだアンカーに締め付け、固定して下さい。



(7) 手すりバーの両端に自在エンド〔ブラケット〕をはめ込み、取り付けした両端の支柱にセットして下さい。ベースプレートカバーを使用する場合は手すりバーを支柱にセットする前に支柱に通して下さい。



(8) 中間支柱の長さを決めてください。セットした手すりバーの下面から地面〔アンカーを打ち込んだ位置〕間の長さより47mm短くして下さい。

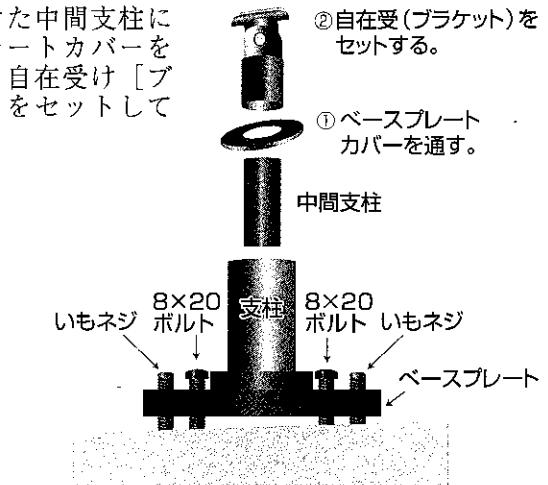


⑦. 中間支柱の長さは取り付け場所の状態により両端の支柱「エンド支柱」より長さは微妙に違いますので事前に用意される場合は少し長めに用意して下さい。

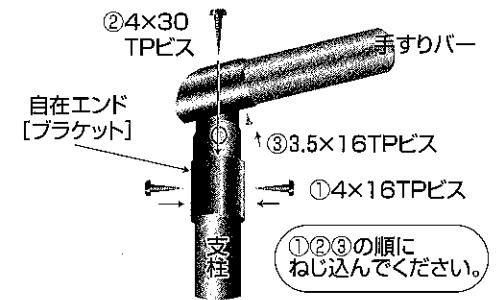
(9) ベースプレートと支柱をセットして4×40のタップビスで固定して下さい。〔(5)と同じ要領〕

(11) 取り付けした中間支柱にベースプレートカバーを通して自在受け〔ブラケット〕をセットして下さい。

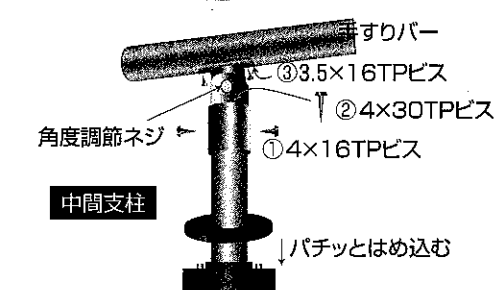
(10) セット出来た中間支柱をアンカー用ボルト8×20で、打ち込んだアンカーに取り付けて下さい。〔(6)と同じ要領〕



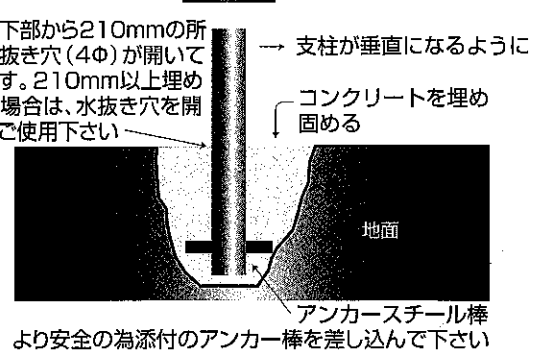
(12) 各々の支柱が地面の状態により垂直にならない場合は、アンカー用ボルト8×20を緩めて地面とベースプレートとをいもネジで垂直になるように調整して下さい。支柱を垂直にしたことによりベースプレートと地面の間には必ずコンクリートを充填して下さい。隙間があると、ベースプレートの強度が弱くなります。但し、勾配がキツク垂直にならない場合はコンクリートで地面を水平にしてください。



(13) セットが完了しましたら
 1. 自在受けの横から4×16のタップビスで自在受けと支柱を固定して下さい。
 2. 自在受けの上部から4×30のタップビスで支柱に締めこんで下さい。
 3. 自在受けの受部の下から手すりバーに3.5×16のタップビスで手すりバーを固定して下さい。



(14) 全体の取り付けが終わりましたらねじの締め忘れが無いか確かめ、最後に各ブラケットの角度調整ねじを締めて下さい。支柱に通していたベースプレートカバーをベースプレートにパチッとはめて出来上がりです。



〔埋め込み法〕

支柱の位置に20cm以上の穴を掘り、支柱を地面に埋め込み、高さ調整が出来ましたら支柱が垂直になるように支柱をコンクリートで固めて下さい。

⑨. ブラケット及び手すりバーの取り付けはコンクリートが固まってから工事をして下さい。

その他は、ベースプレート法と同じ要領で進めてください

お問い合わせは

株式会社 **マイクロケア**
 電話 072-956-0033